

# ナンバンギセル

*Aeginetia indica* L.

ハマウツボ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

## 形態

茎は赤褐色でごく短く、ほとんど地上に出ず、狭三角形の鱗片葉が数個互生する。茎のように見える高さ15~20cmの直立した花柄の先に淡紫色の花を横向きにつける。

## 国内分布

北海道、本州、四国、九州、沖縄。

## 県内分布

内浦区、中能登区、加賀中央区、南加賀区。

## 生態など

ススキの根に寄生するので、ススキ草原が失われると減じる。花期は7~9月。

## 生育環境

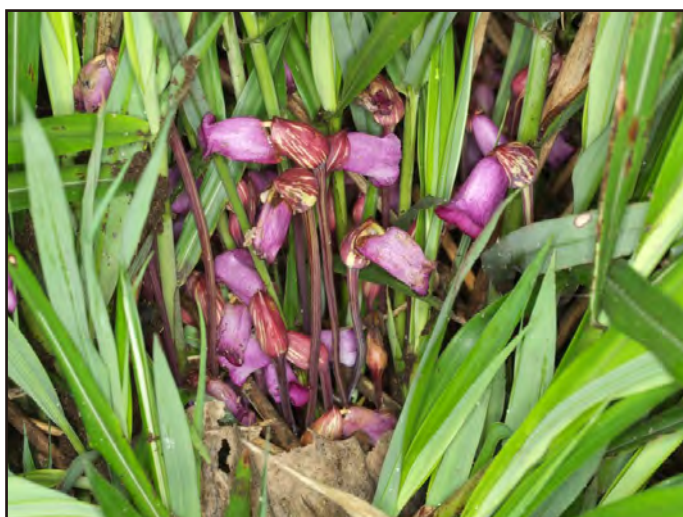
ススキ草原。

## 危険要因

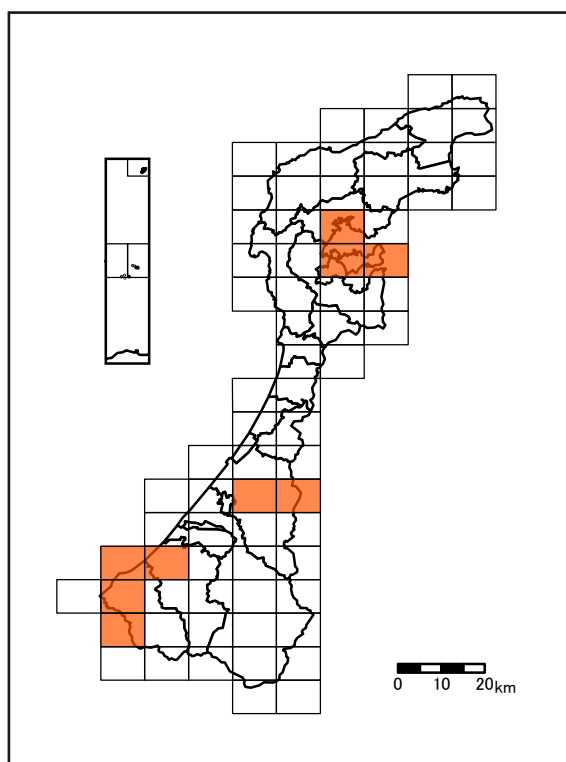
草地開発、道路工事、土地造成、管理放棄、自然遷移、産地局限。

## 特記事項

万葉集に「おもい草」として歌われる植物である。



本多郁夫・2007年9月26日・金沢市



県内の分布